



2026年8月8日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

12,526万kW

13時30分、125,256 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,771万kW

12時、47,710 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

107万kW

14時30分、1,068 MW

◇ 再エネ最大需要比

47.9%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

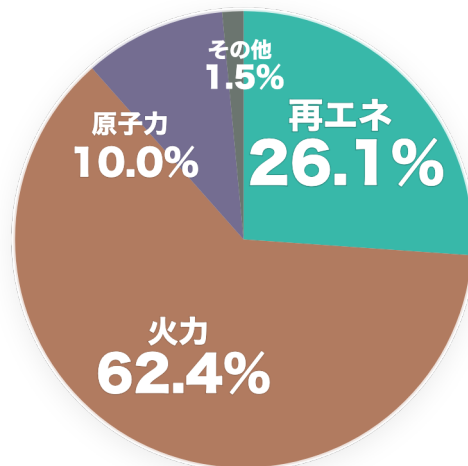
東京

142 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

108 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 40.5%

35.5 GWh

出力抑制量

2.1 GWh

最大: 東北 2.1 GWh

揚水・蓄電の充電

49.4 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:00に4,316万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで40.5%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	26.1%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	665 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,547 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	47.9%	12時
出力抑制量	2.1 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	49.4 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	40.5%	35.5	0.0	送電 9.9
東北	32.1%	108	2.1	送電 108
東京	20.3%	147	0.0	受電 142
中部	34.0%	101	0.0	受電 54.6
北陸	35.5%	27.1	0.0	送電 1.5
関西	17.5%	69.9	0.0	受電 31.6
中国	28.7%	52.5	0.0	送電 5.0
四国	26.1%	30.9	0.0	送電 41.9
九州	30.4%	92.4	0.0	送電 41.8
沖縄	6.7%	1.6	0.0	—



2026年8月8日の供給実績

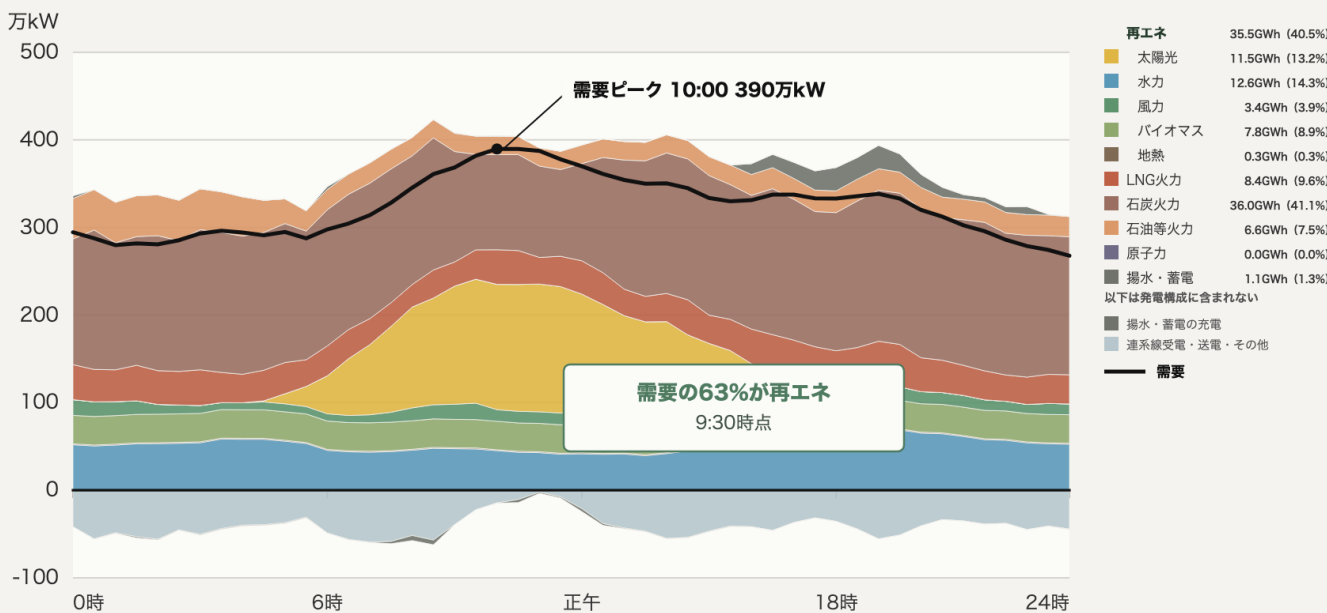
北海道エリア

再エネ

35.5GWh

(発電電力量ベース40.5%)

北海道エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

87.7GWh

需要ピーク

10:00、390万kW

連系線・その他

9.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク146万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.3%だった。



2026年8月8日の供給実績

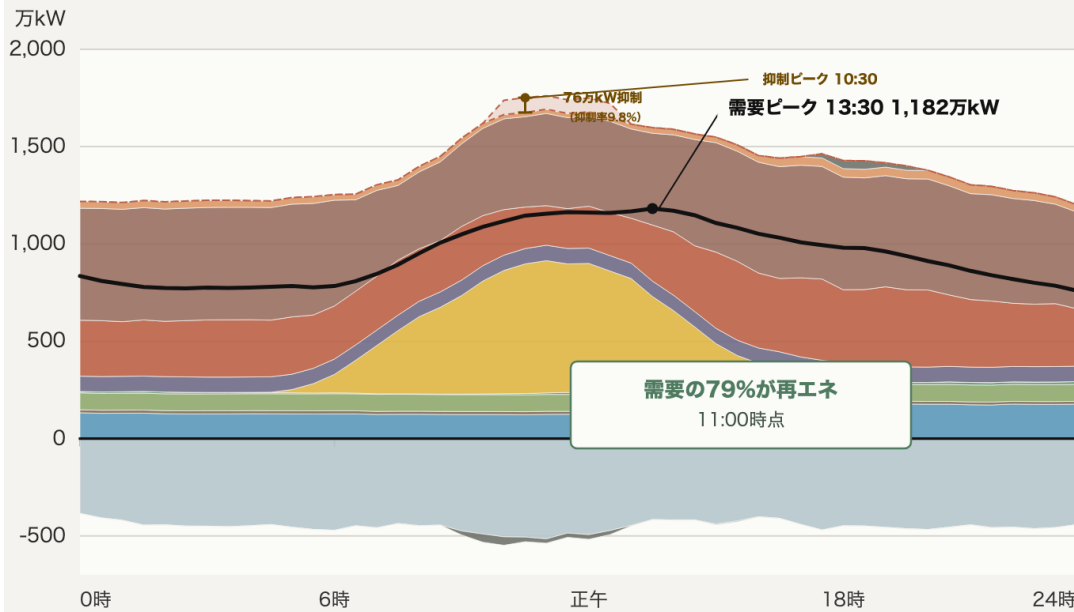
東北エリア

再エネ

107.5GWh

(発電電力量ベース32.1%)

東北エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 335GWh
(3,354万kWh)

再エネ	107.5GWh (32.1%)
太陽光	46.0GWh (13.7%)
水力	34.3GWh (10.2%)
風力	2.6GWh (0.8%)
バイオマス	20.9GWh (6.2%)
地熱	3.7GWh (1.1%)
LNG火力	73.9GWh (22.0%)
石炭火力	126.2GWh (37.6%)
石油等火力	8.1GWh (2.4%)
原子力	18.9GWh (5.6%)
揚水・蓄電	0.8GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量 2.1GWh
火力 2.1GWh
本邦発電可能量の1.0%
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

335.4GWh

需要ピーク

13:30、1,182万kW

連系線・その他

108.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.1GWh

出力抑制

2.1GWh

概況

東北は、太陽光ピーク680万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.1%だった。



2026年8月8日の供給実績

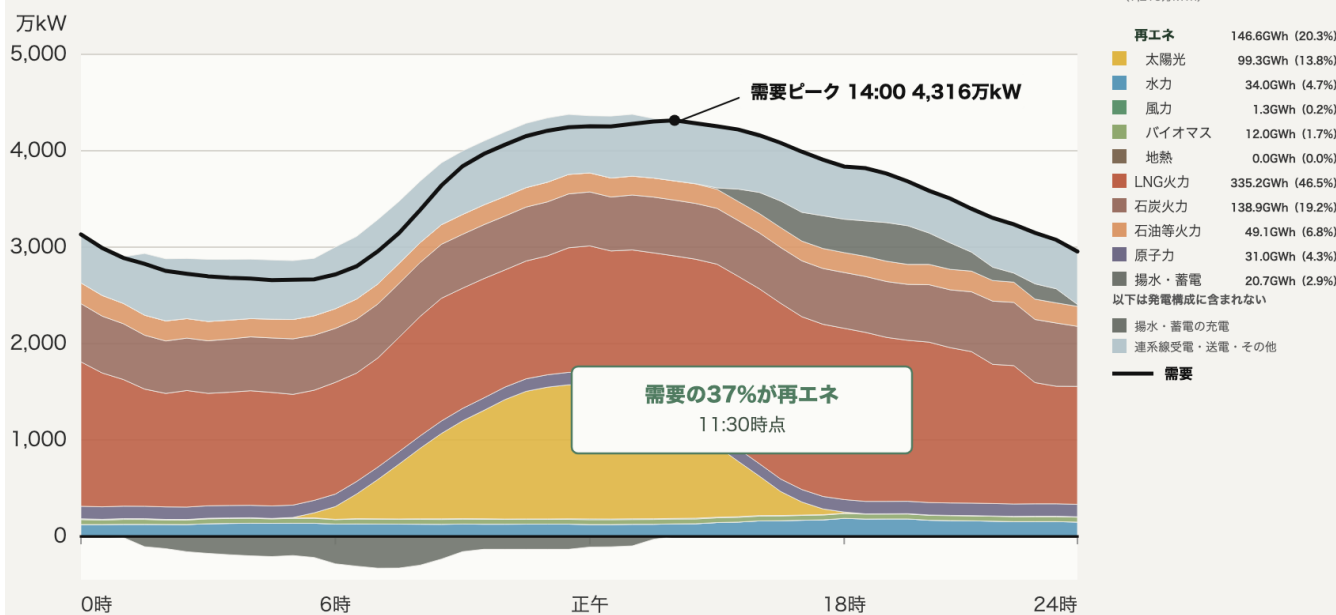
東京エリア

再エネ

146.6GWh

(発電電力量ベース20.3%)

東京エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

721.5GWh

需要ピーク

14:00、4,316万kW

連系線・その他

141.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電

22.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,390万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.1%だった。



2026年8月8日の供給実績

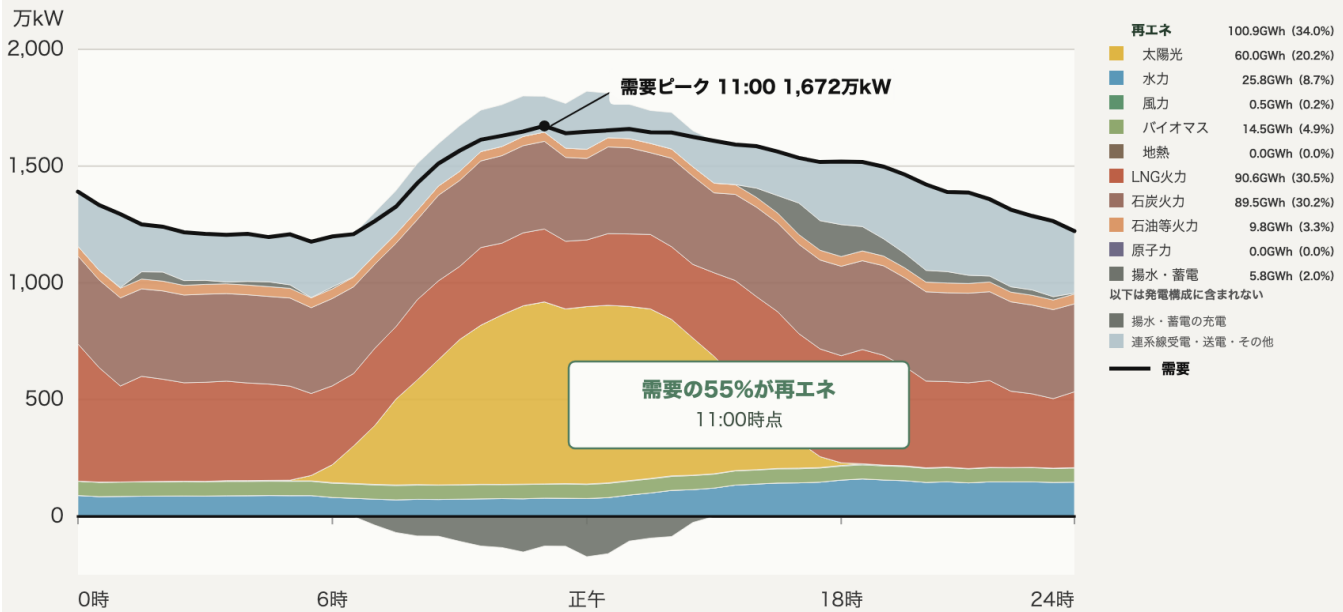
中部エリア

再エネ

100.9GWh

(発電電力量ベース34.0%)

中部エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

296.6GWh

需要ピーク

11:00、1,672万kW

連系線・その他

54.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク779万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.9%だった。



2026年8月8日の供給実績

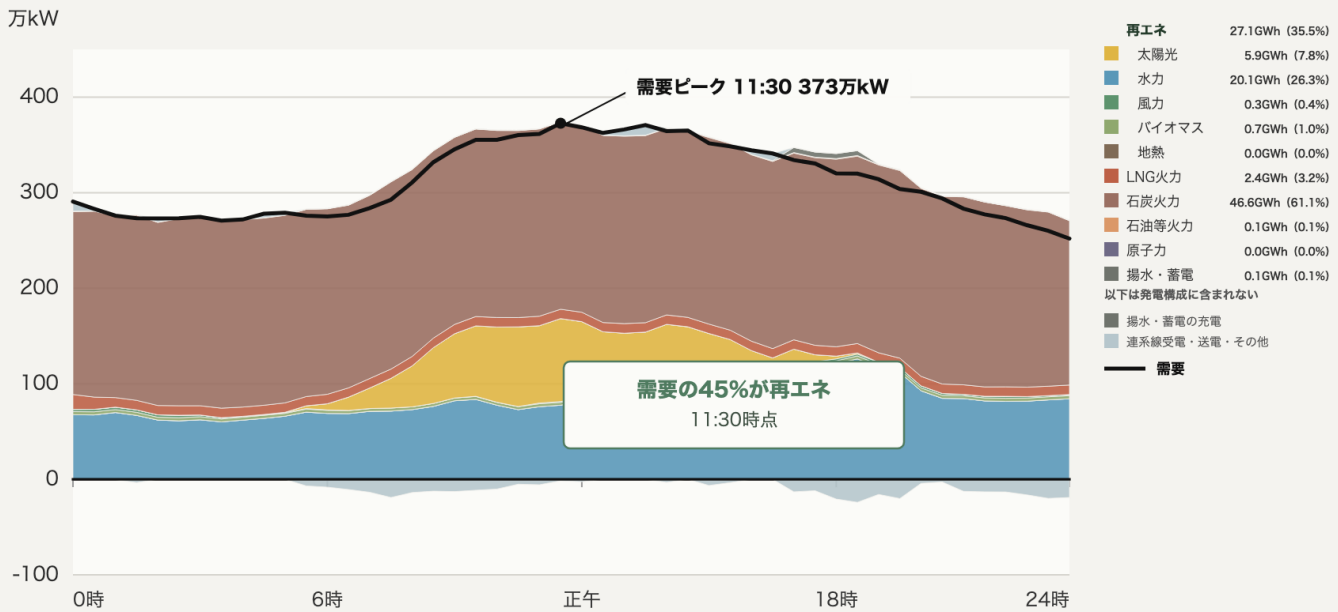
北陸エリア

再エネ

27.1GWh

(発電電力量ベース35.5%)

北陸エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

76.3GWh

需要ピーク

11:30、373万kW

連系線・その他

1.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク87万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.2%だった。



2026年8月8日の供給実績

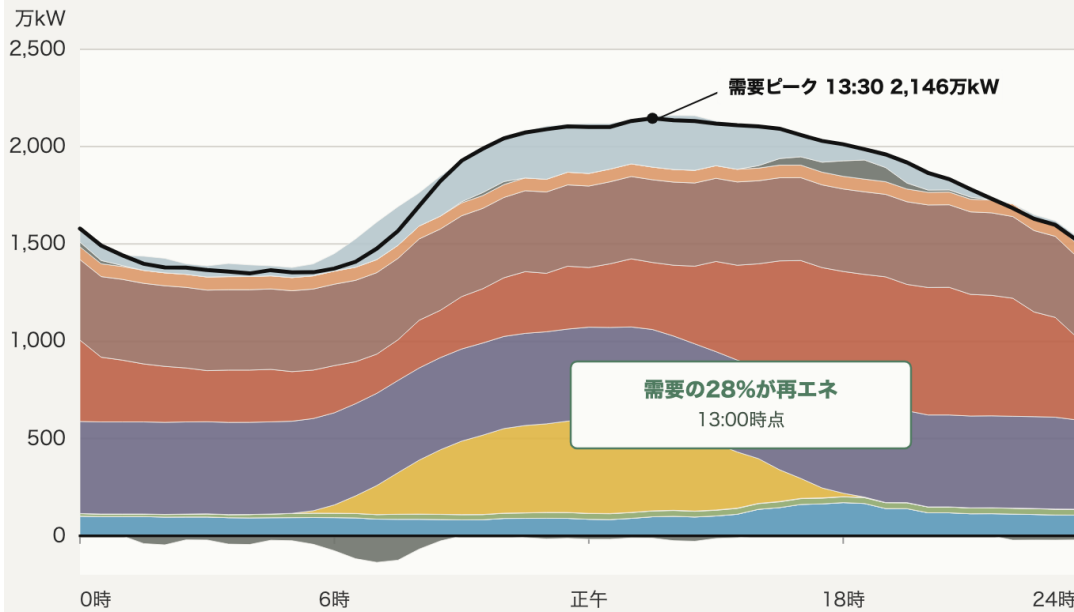
関西エリア

再エネ

69.9GWh

(発電電力量ベース17.5%)

関西エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 400GWh
(3,997万kWh)

再エネ	69.9GWh (17.5%)
太陽光	38.1GWh (9.5%)
水力	25.6GWh (6.4%)
風力	0.2GWh (0.0%)
バイオマス	6.1GWh (1.5%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	97.2GWh (24.3%)
石炭火力	100.7GWh (25.2%)
石油等火力	15.8GWh (4.0%)
原子力	113.4GWh (28.4%)
揚水・蓄電	2.7GWh (0.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

399.7GWh

需要ピーク

13:30、2,146kW

連系線・その他

31.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク484万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.5%だった。



2026年8月8日の供給実績

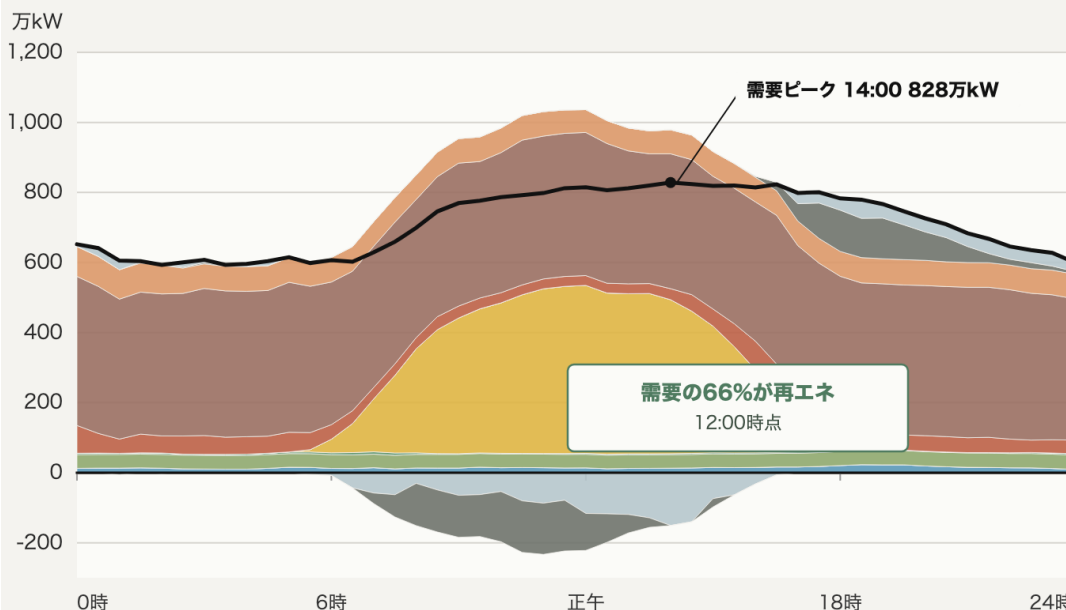
中国エリア

再エネ

52.5GWh

(発電電力量ベース28.7%)

中国エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

183.0GWh

需要ピーク

14:00、828万kW

連系線・その他

8.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

7.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク480万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.8%だった。



2026年8月8日の供給実績

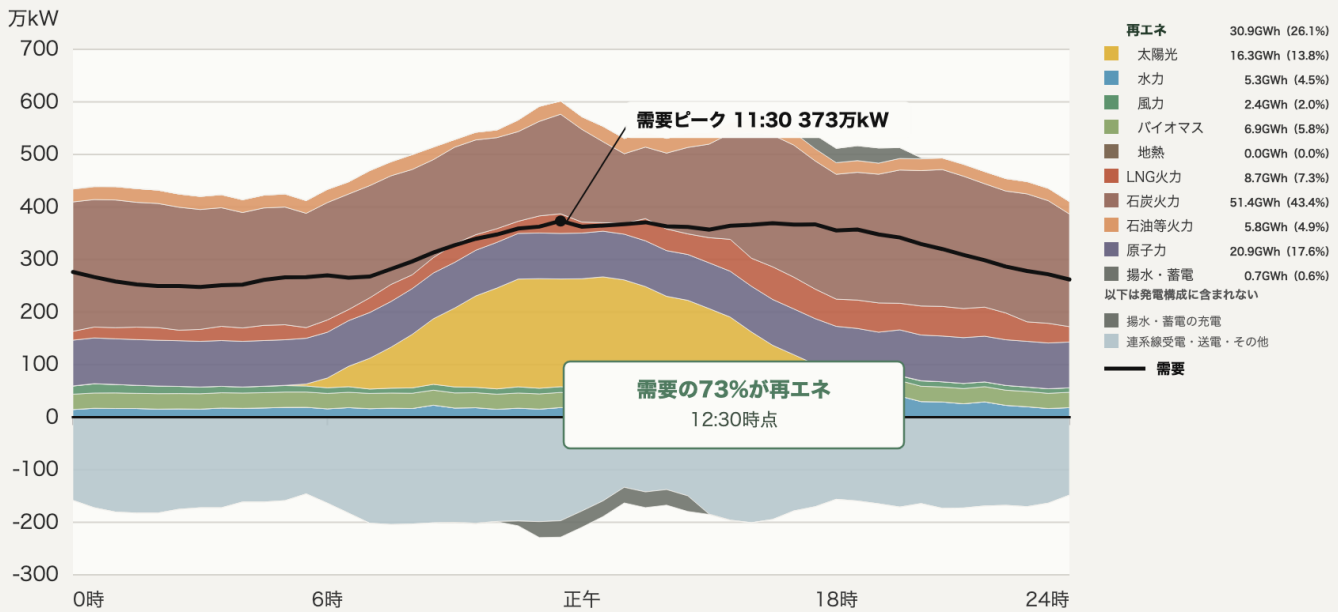
四国エリア

再エネ

30.9GWh

(発電電力量ベース26.1%)

四国エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

118.4GWh

需要ピーク

11:30、373万kW

連系線・その他

41.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク209万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.2%だった。



2026年8月8日の供給実績

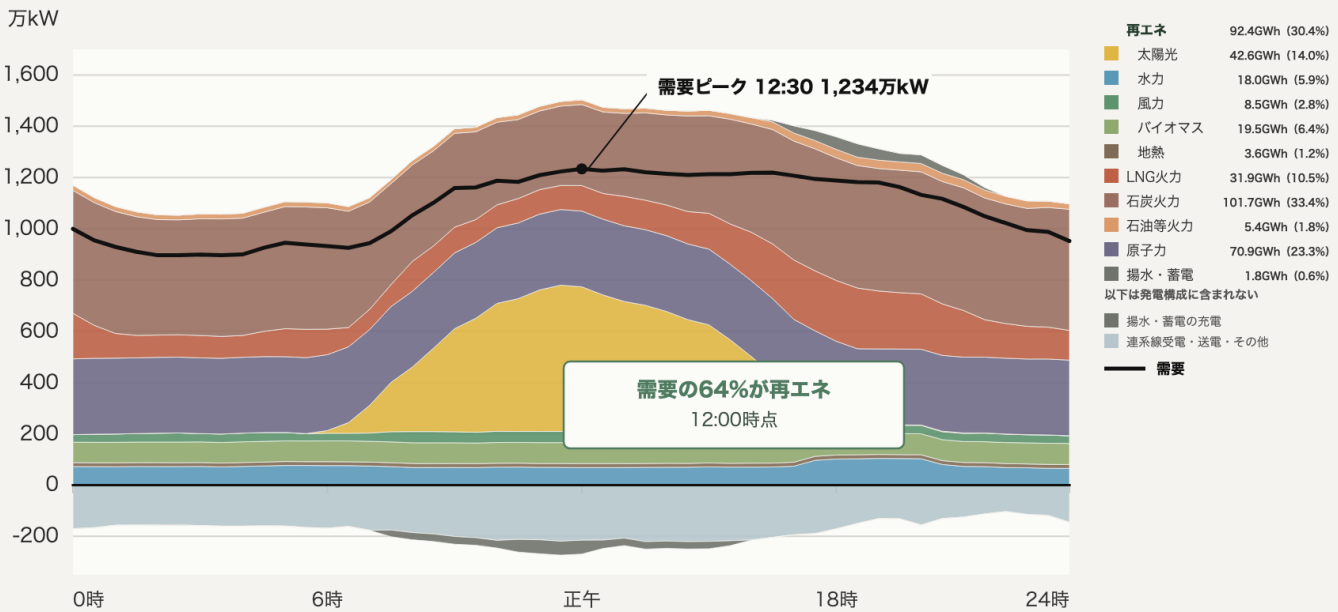
九州エリア

再エネ

92.3GWh

(発電電力量ベース30.4%)

九州エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

304.0GWh

需要ピーク

12:30、1,234万kW

連系線・その他

41.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク571万kW、風力ピーク46万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.8%だった。



2026年8月8日の供給実績

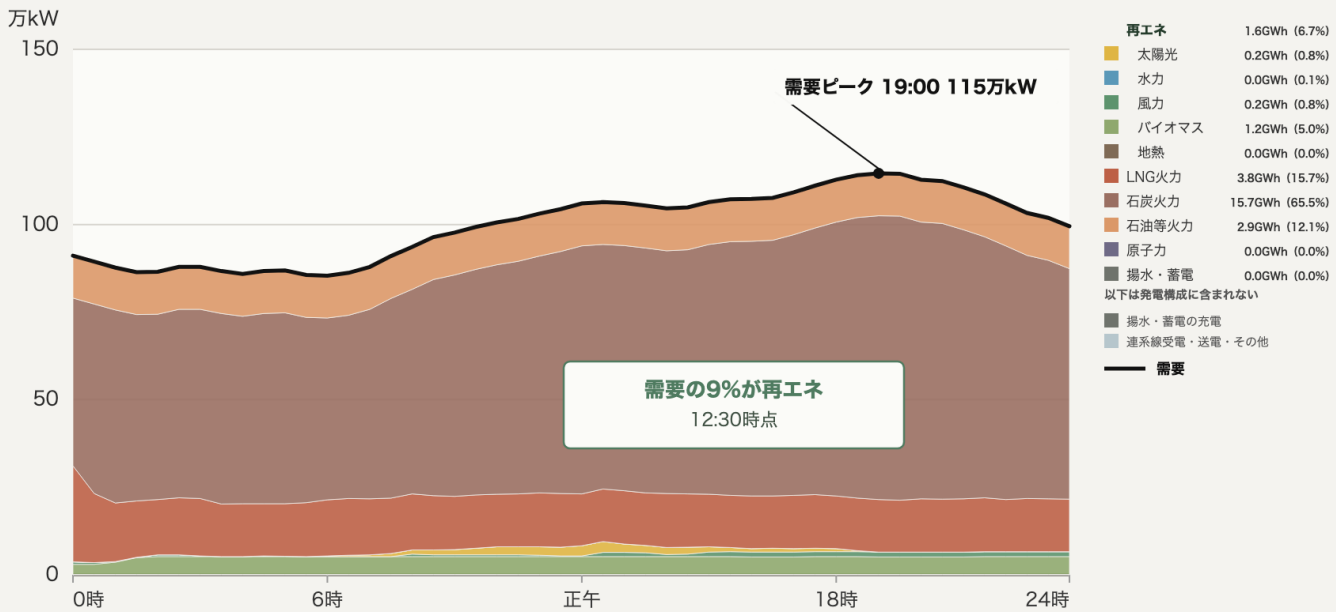
沖縄エリア

再エネ

1.6GWh

(発電電力量ベース6.7%)

沖縄エリア 2026年8月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

23.9GWh

需要ピーク

19:00、115万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク3万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は8.9%だった。